

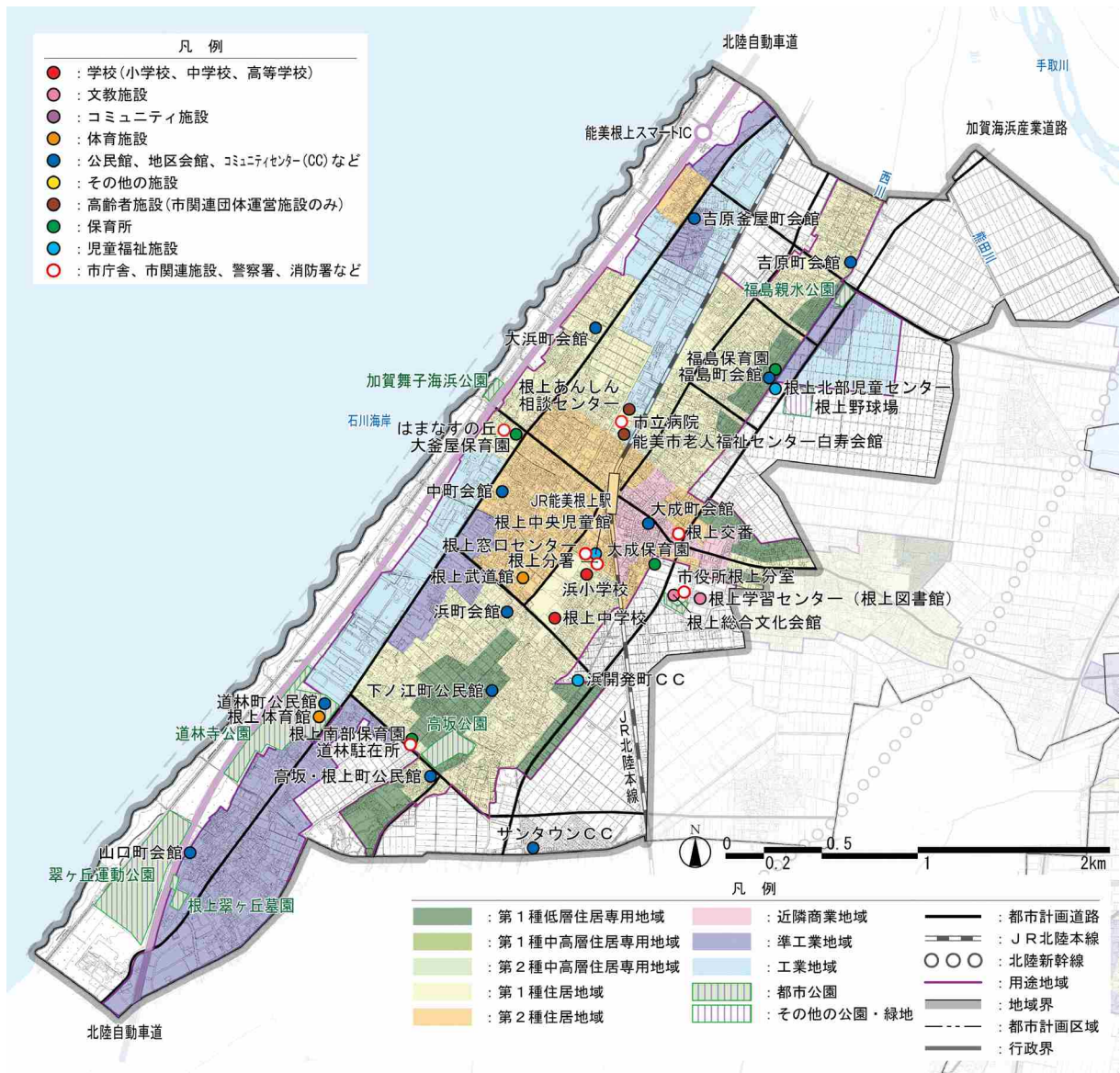
2. 浜地域

1) 地域の現況

(1) 概況

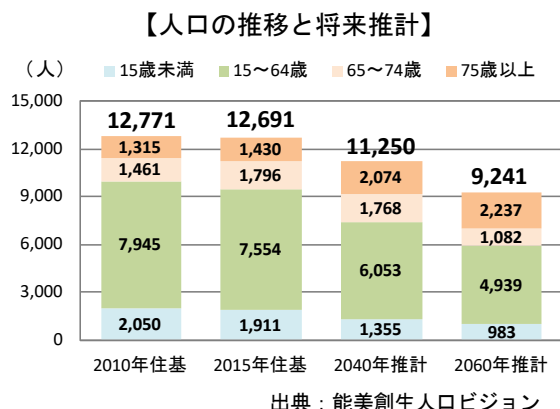
- ・ JR能美根上駅を中心として南北に長いまちなみを形成しており、(都)木曾街道線沿線の工業団地のほか、住居地、商業地が連担する一団の市街地で構成されています。
- ・ 文化教育拠点の中心である根上総合文化会館・根上学習センターや、市役所根上分室、根上中学校、浜小学校、市立病院などの公共施設が立地し、高坂公園や加賀舞子海浜公園、翠ヶ丘運動公園などの都市公園のほか、根上パークゴルフ場などを核としたリフレッシュ拠点が整備されています。
- ・ 北陸自動車道や加賀海浜産業道路が地域を縦貫するとともに、2018年3月には能美根上スマートICが供用開始し、交通利便性を活かした交流促進や産業集積が期待されています。

【地域の現況図】



(2) 人口

- ・人口は2015年時点で12,691人であり、2010年から2015年にかけてほぼ横ばいでしたが、2040年には2015年比で約1割減少（▲1,441人）すると推計されています。
- ・年齢構成は、2015年時点は65歳以上が25%でしたが、2040年には34%になり、特に75歳以上が18%になると推計されています。



(3) 交通

- ・本地域には北陸自動車道が縦貫しており、能美根上スマートICが設置されています。また、JR北陸本線の能美根上駅があることから、本市全体の交通拠点となっています。
- ・都市計画道路は地域間交通および市街地内の円滑な交通処理を目指し、地域を縦貫する（都）木曾街道線や（都）根上小松線および市の一部を東西に結ぶ能美東西連絡道路（（都）下ノ江高堂線）などがあります。
- ・コミュニティバス「のみバス」は、JR能美根上駅を起点とする根上循環バスが運行しているほか、市内の東西を広域的に結ぶ連携バスが運行しています。

(4) 地域環境

- ・地域内には西川、熊田川が流れているほか、石川海岸沿いの海岸地区には、防風林などの保安林地区が設定されており、ハマナスの群落や磯馴^{そなれ}松などを擁する美しい砂丘が広がっています。この海岸部は、いしかわ景観総合条例に基づく景観形成重要地域にも指定されています。
- ・地域南端には旧町名「根上」の由来となった市指定文化財の根上松があります。

【能美根上駅】



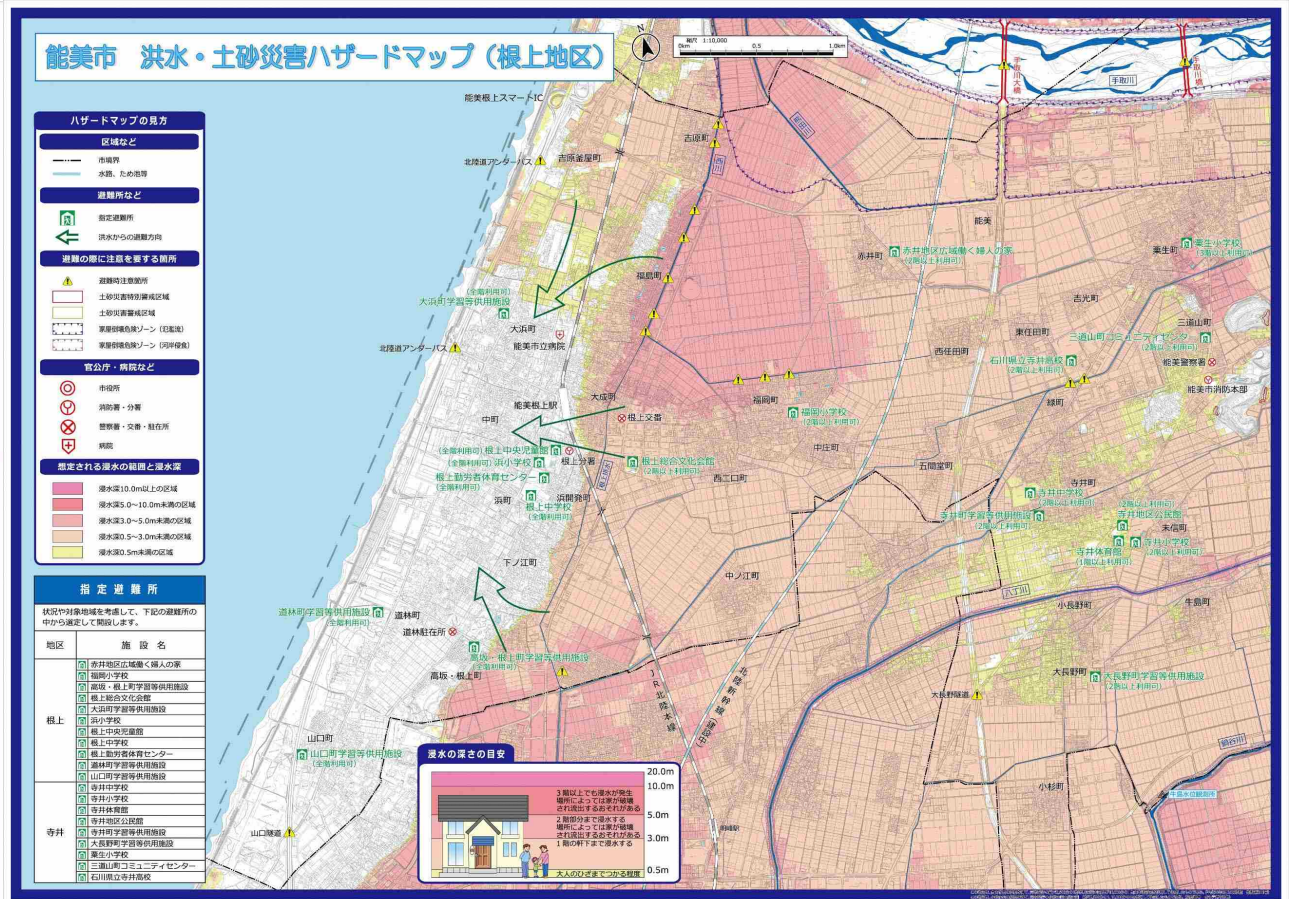
【ハマナス群落】



(5) 災害

- ・本地域では河川の洪水による浸水想定区域が地域の東部に指定されており、特に北部の一部では浸水深が大きくなっています。

【洪水・土砂災害ハザードマップ】



(6) 住民意向

- ・市民満足度調査（2017年都市計画関連分野）では、地域全体の平均値よりも満足度の値が低く、重要度の値が高い項目として、「移住・定住の促進」「農業・農村の振興」「商業の振興」「居住環境の充実」「道路の維持・整備」「公共交通の充実」が挙げられます。
- ・これまでのタウンミーティングでの主な意見は、「UIターンの推進」「観光施設と駅を結ぶ交通環境の整備」「加賀丸いもの振興や後継者育成」「空き家対策」「通学路の安全確保」「のみバスの小型化、運行時間帯の改善」「高校との交通アクセスの改善」などが挙げられました。

【満足度・重要度】

	満足度	重要度
評価が高い項目	①工業の振興 ②暮らしの質の向上 ③ <u>移住・定住の促進</u>	① <u>道路の維持・整備</u> ②水環境の保全と活用 ③暮らしの質の向上
評価が低い項目	①観光と交流の促進 ② <u>商業の振興</u> ③ <u>農業・農村の振興</u>	①歴史・文化・伝統の継承 ②観光と交流の推進 ③里山・自然の保全と活用

※1 下線は地域全体の平均値よりも満足度の値が低く、重要度の値が高い項目 出典：市民満足度調査（2017年）

※2 次の項目はいずれの地域においても上位を占め、地域差がみられないため除外した

満足度：「上下水道の維持・整備」「歴史・文化・伝統の継承」「里山・自然の保全と活用」「水環境の保全と活用」

重要度：「上下水道の維持・整備」

2) 地域の課題

地域全体	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に必要な都市機能が集積した地域生活拠点としての機能の維持・充実 ・交通アクセスの利便性を活かした地域間交流の促進 ・「文化教育拠点」の利活用の促進や「リフレッシュ拠点」を活用した交流の促進 ・空き家・空き店舗や空き地の有効活用
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地であるJR能美根上駅周辺の活性化 ・交通結節点である能美根上スマートIC周辺の利活用の促進 ・産業集積のさらなる促進 ・幹線道路沿線などにおける住宅や都市機能の適正な誘導
都市施設	<ul style="list-style-type: none"> ・加賀海浜産業道路の整備促進 ・JR能美根上駅にアクセスする（都）北中央線の整備促進 ・鉄道の利用と連携した、のみバスを含めた公共交通の利便性向上
地域環境・地域資源	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財の景観・環境の保全と活用 ・海岸および海岸保安林の環境の保全 ・白山眺望の保全
安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・河川の環境保全や治水対策および災害時の避難場所・避難経路の確保

3) 将来像・地域づくりの基本方針

(1) 地域の将来像

美しい海岸線と交通結節機能や文化・教育機能を活かした 活気とにぎわいある地域づくり

白砂青松の美しい海岸や根上松などの本市を代表する資源を有するほか、JR能美根上駅周辺には商業や文化・教育などの重要な機能が集積しており、今後もまちづくりの拠点としての機能維持・充実を進めます。

さらに、能美根上スマートICや加賀海浜産業道路、能美東西連絡道路などの基幹的な道路交通施設の整備により、本市の強みであるものづくり産業を中心とした新たな産業集積が進められており、本市の活気とにぎわいを牽引する地域づくりを進めます。

(2) 地域づくりの基本方針

①土地利用・拠点整備の方針

JR能美根上駅周辺を中心とした商業機能や根上総合文化会館などを核とした文化教育機能など、既存の機能を維持・充実するとともに、能美根上スマートICなどによる広域的な交通利便性を活かした新たな産業集積を進め、本市の活気とにぎわいを牽引する土地利用・拠点整備を推進します。

A. 都市系

住居地	低層住宅地区	<ul style="list-style-type: none"> ● 福島しらさぎの里や下ノ江サントウンなどの住宅団地においては、今後とも低層でゆとりある良好な居住環境の維持・充実を図りつつ、市街地内の未利用地においては、周辺の良好な居住環境と調和した土地利用の誘導を図ります。
	一般住宅地区	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の中央部を南北に広がる市街地においては、現状の市街地環境の維持・充実を図りつつ、未利用地においては、周辺の良好な居住環境と調和した土地利用の誘導を図ります。 ● 加賀海浜産業道路沿線においては、今後の企業立地や移住・定住による宅地需要を踏まえながら、住宅地としての土地利用を検討します。
商業地	沿道商業・業務地区	<ul style="list-style-type: none"> ● 幹線道路沿線という立地特性を活かし、日常生活の利便性を高める商業・業務系土地利用の誘導を図ります。
	駅周辺地区	<ul style="list-style-type: none"> ● JR能美根上駅周辺においては、能美市の顔にふさわしい交流・交通拠点機能の維持・充実とともに、空き家・空き店舗の活用等による商業機能の集積を図り、にぎわいと活力の中心として再生します。

工業地	産業集積地区	<ul style="list-style-type: none"> ● (都)木曽街道線沿線の大規模工場が立地する地域においては、周辺の環境に配慮し、敷地内の積極的な緑化を進めます。 ● 能美根上スマート I C 周辺や福島産業団地周辺においては、I C や加賀海浜産業道路の交通利便性を活かした産業集積の促進や生活利便施設などの誘導を図ります。
	職住近接地区	<ul style="list-style-type: none"> ● 土地区画整理事業により良好な宅地が整備されている山口町およびその北部に隣接する(都)木曽街道線西側の道林町地内においては、今後も小規模な工場や事務所などとともに、職住近接型の土地利用の誘導を図ります。
史跡地域・文化	史跡地区	<ul style="list-style-type: none"> ● 根上松周辺ではその環境を保全するとともに、歴史的な景観と調和したまちなみの維持・創出に向け、ゆとりある良好な居住環境の維持・充実を図ります。

B. 田園・自然系

田園地域・集落	田園地区	<ul style="list-style-type: none"> ● 田園部の良好な農地については、無秩序な開発による土地利用の混在を防止し、本市を特徴づける良好な田園環境として保全します。
地域自然活用	レクリエーション地区	<ul style="list-style-type: none"> ● 翠ヶ丘運動公園や根上パークゴルフ場については、良好な自然環境と調和した土地利用の規制・誘導を図ります。
	海岸地区	<ul style="list-style-type: none"> ● ハマナス群落や松林など貴重な植生が維持されている海岸部については、将来にわたって自然環境の保全に努めます。

C. 拠点

まちづくり拠点	<ul style="list-style-type: none"> ● 根上総合文化会館などを核とした「文化教育拠点」では、立地環境を活かし、芸術・文化や教育などの活動を促進します。 ● 根上パークゴルフ場などを核とした「リフレッシュ拠点」では、市民の憩いの場や市内外との交流の促進を図るため、機能強化を図ります。
地域拠点	<ul style="list-style-type: none"> ● J R 能美根上駅周辺においては、都市基盤の集積を活かし、日常生活に必要な機能の維持・充実による「地域拠点」の形成を図ります。

②都市施設の整備方針

能美東西連絡道路や能美根上スマート I C、加賀海浜産業道路などの広域的な交通網の充実および J R 能美根上駅などの公共交通の利便性向上により、交流の促進を図ります。

A. 交通施設

主要幹線道路 (基幹都市軸)	<ul style="list-style-type: none"> ● 加賀海浜産業道路については、市外の各都市との広域的な交流や連携を強化する新たなネットワークとして整備を促進します。 ● (都)根上国道線については、今後の産業集積に向けた重要な路線として、機能の維持・充実を図ります。
-------------------	---

幹線道路 (地域連携軸)	<ul style="list-style-type: none"> ● (都) 木曽街道線および(都) 加賀舞子線については、地域内外の連携や日常生活を支える重要な路線であり、適切な維持管理による機能維持に努めます。
補助幹線道路	<ul style="list-style-type: none"> ● (都) 北中央線については、地域北部をスムーズに連絡する補助幹線道路として整備を促進します。
主要な生活道路	<ul style="list-style-type: none"> ● J R 能美根上駅周辺や商店街における生活道路については、回遊性を高めることで、地域のにぎわい創出・活力の向上を図ります。
集落内生活道路	<ul style="list-style-type: none"> ● 歩行者や自転車に優しい安全・安心な道路空間の創出および住民と行政の協働による維持管理を促進します。
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ● J R 能美根上駅は、本市の玄関口としての利活用の向上および交通結節点機能の維持・充実を図ります。 ● J R とのみバスの連携やのみバスの利便性向上による利用促進に努めるほか、地域ニーズに応じた多様な移送サービスの確保などにより、地域生活拠点と集落の連携強化を図ります。

B. 公園緑地

都市公園	<ul style="list-style-type: none"> ● 翠ヶ丘運動公園や道林寺公園、加賀舞子海浜公園については、レクリエーションや健康づくりの場として充実を図ります。 ● 高坂公園など市街地内の都市公園については、誰もが安心して利用しやすい公園として、バリアフリー化や施設の充実を図るとともに、協働による公園緑地の維持管理を推進します。
その他の公園・緑地	<ul style="list-style-type: none"> ● 各町内会に整備されている小公園については、施設の整備状況に合わせて地域コミュニティ醸成の場、子ども達の遊びの場として充実を図るとともに、適切な維持管理を推進します。

C. その他都市施設等

海岸・河川・水路	<ul style="list-style-type: none"> ● 石川海岸については、侵食の防止のために海岸保全施設の整備を推進するとともに保安林の保全に努めます。 ● 西川、熊田川については、河川改修や合流地点の樋門などの治水対策を促進します。
供給・処理施設	<ul style="list-style-type: none"> ● 上水道については、老朽化した施設・管路の計画的な更新や耐震化を進めるとともに、下水道の適切なマネジメントにより、生活環境の改善、公衆衛生の向上、河川の水質改善を図ります。 ● 廃棄物では、5 R 運動の推進によるごみの減量化を目指します。
その他の公共公益施設	<ul style="list-style-type: none"> ● 能美市立病院や小学校をはじめ、その他の公共公益施設については、老朽化に応じた改修や耐震化、バリアフリー化などによる施設機能の維持・充実に努めます。

③地域環境形成の方針

美しい海岸部、地域の名称の由来である根上松周辺の環境・景観保全を図るとともに、良好な白山眺望を維持していきます。

自然環境	<ul style="list-style-type: none">● 松林やハマナス群落をはじめとする貴重な海岸植生などの自然の再生と積極的な保全に努めるとともに、人と自然がふれ合える場所として活用を図ります。
地域資源	<ul style="list-style-type: none">● 白砂青松の海岸部や根上松周辺の環境・景観を保全・継承するため、市民との協働による保全・再生等を推進します。
景観	<ul style="list-style-type: none">● 福島しらさぎの里や能美根上駅周辺からの白山の眺望については、各種規制・誘導などを行い、眺望の保全に努めます。

④安全・安心な地域づくりの方針

西川、熊田川の浸水対策をはじめとした防災機能の充実とともに、防犯機能や交通安全の強化、地域福祉による支え合いなどにより、子どもから高齢者まで、誰もが安全に安心して生活することができる地域づくりを推進します。

防災	<ul style="list-style-type: none">● 西川、熊田川については、河川改修を促進するとともに、手取川の外水氾濫を防止するため合流地点に樋門の設置を推進します。● 近年頻発している震災や大雨に対しては、自主防災組織の結成・活動支援の推進や各種ハザードマップを活用した情報提供、防災情報伝達システムの構築などによる防災対策に努めます。
防犯	<ul style="list-style-type: none">● 防犯効果の向上が見込まれる環境面に配慮したLED灯を推進するとともに、関係機関と連携した防犯意識の啓発や防犯パトロールの強化、それらを補完する防犯カメラの設置に取り組みます。
交通安全	<ul style="list-style-type: none">● 通学路、生活道路は人優先を基本方針とし、歩行者と自動車の分離や自動車への注意喚起と速度抑制を徹底するため、ハード・ソフト対策の一体的な取組みを推進します。● 特に、浜小学校、根上中学校周辺における子どもの移動経路等は、ゾーン30による面的低速度規制等によって重点的に取り組みます。
地域福祉等	<ul style="list-style-type: none">● 身近な地域でお互いに支え合う地域活動の核となる地域福祉委員会の活動の充実を図ります。

浜地域 将来構想図

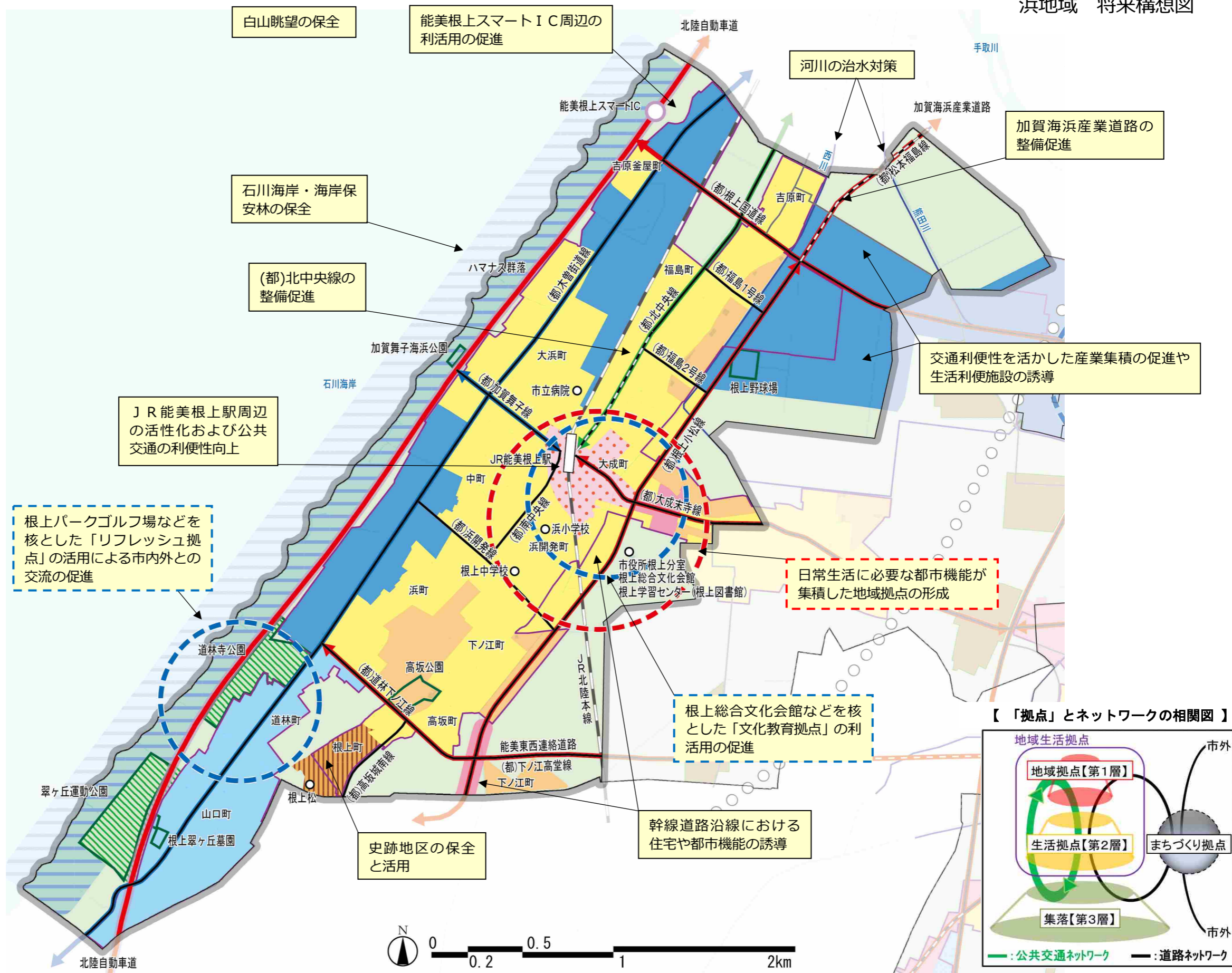
凡例

- 住居地
 - 低層住宅地区
 - 一般住宅地区
- 商業地
 - 沿道商業・業務地区
 - 駅周辺地区
- 工業地
 - 産業集積地区
 - 職住近接地区
- 文化・史跡地域
 - 史跡地区
- 集落・田園地域
 - 田園地区
- 自然活用地域
 - レクリエーション地区
 - 海岸地区
- 都市公園等
- 水路・用水
- 地域界
- 都市計画区域
- 用途地域

- 都市計画道路
- 都市計画道路以外の既成県道
- 基幹都市軸
- 地域連携軸
- 主要幹線

※破線は整備構想区間

- 地域拠点
- まちづくり拠点



【「拠点」とネットワークの相関図】

